

# 街の空間像を提案する

—建築・街空間・自然の連鎖系 (Linkage) を創る—

坪井善道

日本大学教授（元）・博士（工）、一級建築士  
一般財団法人 建築・まちづくり協力研究所 理事・研究主幹



# -街の空間像を提案するための基本的要件-

- ①安心・安全なコミュニティ空間の創造
- ②高齢社会に対応したコミュニティ空間の形成
- ③地域の歴史的空間資源の保全・活用
- ④自然環境との共生
- ⑤コミュニティ意識の活性化を誘発するコミュニティ空間の形成
- ⑥持続可能 (Sustainable) なコミュニティとコミュニティ空間の形成
- ⑦省資源・省エネルギーに配慮した建築によるまちづくり
- ⑧景観に配慮した街並の形成

## I. 建築・まちづくりアイデアコンペ受賞作品

◆ I-① 静岡県住宅展20周年記念住宅設計コンペ/21世紀に向かったの静岡県のすまい-三世代の住む家-(主催:静岡県住宅展推進委員会 後援:建設省,住宅金融公庫,住宅都市整備公団他)

〈優秀賞〉 (1984. 6)

◆ I-② 第21回設計競技-東京/歴史と文化の散歩道「言問コース」修景整備計画-東京京建築士会主催後援:東京都・台東区)

〈台東区長賞〉 1986. 5)

◆ I-③ 第一回オホーツクまちなみ整備コンペティション／ 網走周辺地区まちなみ整備計画 (オホーツク委員会,網走市,網走市,オホーツクの21世紀を考える会主催,北海道開発局,北海道新聞社,朝日新聞北海道支社,毎日新聞北海道支社,NHK札幌支局,HBS他後援)

〈佳作一席〉 (1993. 9)

◆ I-④ まちづくり月間実行委員会主催第21回すまい・まちづくり設計競技/首都圏郊外地域における,自然を活用した環境負荷の少ない住宅地の形成—LINKAGE 自然・住まい・コミュニティの連鎖系をつくる— (まちづくり実行委員会、(財)住宅生産振興財団主催,国土交通省,茨城県他後援)

〈(財)住宅生産振興公団会長賞〉 (2004. 6)

◆ I-⑤ 第12回 2009年 まちの活性化・都市デザイン競技/地域資源を活かした活力ある街並み形成と居住環境の向上(栃木県宇都宮市「小幡・清住地区を対象として」)—緑と歴史が共生するまち・緑のリンクージュによるコミュニティの再生と活性化—(主催:まちづくり月間実行委員会 財)都市づくりパブリックデザインセンター 後援:国土交通省,栃木県,宇都宮市)

〈宇都宮市長特別賞〉 (2010. 6)

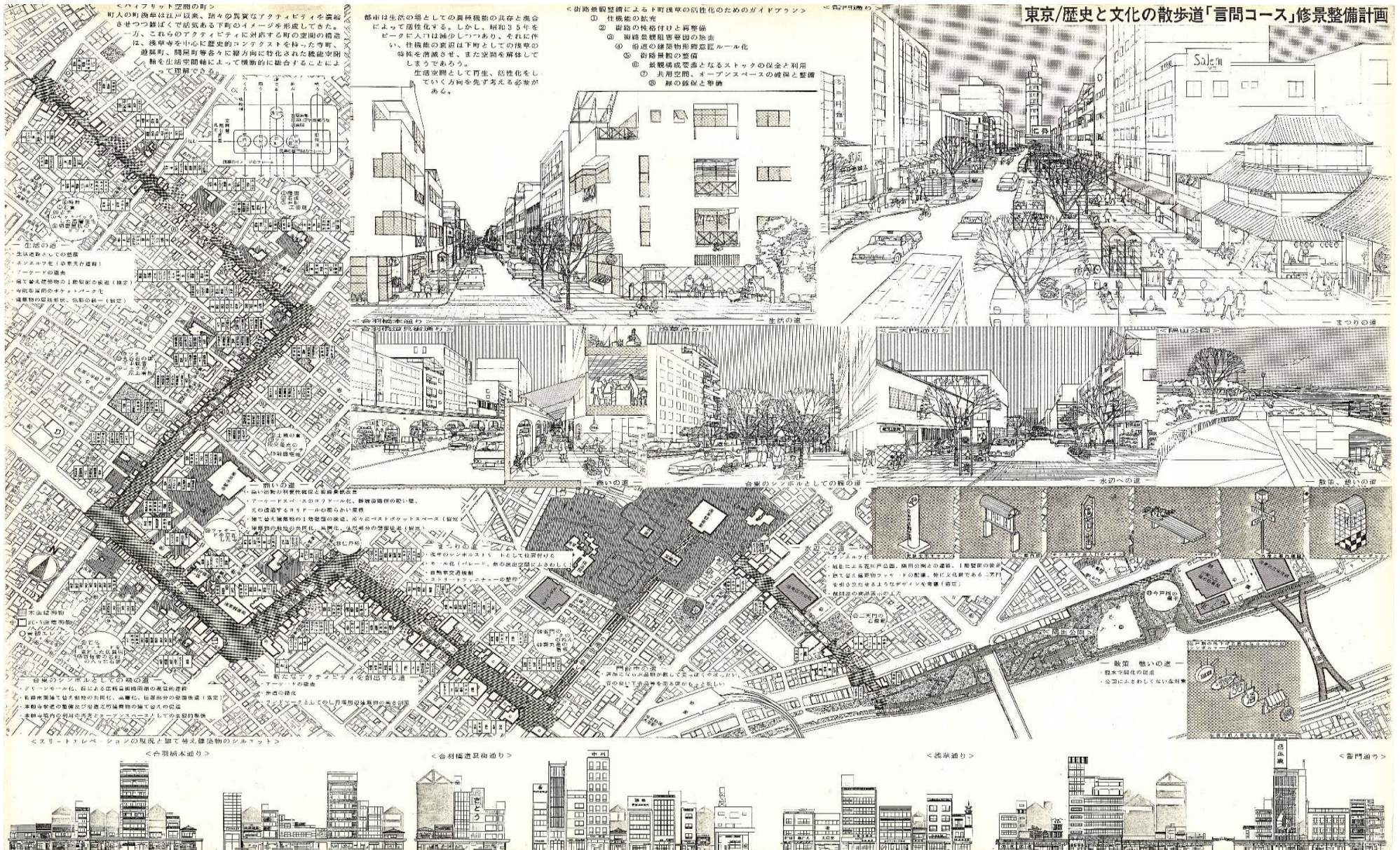






◆ I-② 第21回設計競技-東京/歴史と文化の散歩道「言問コース」修景整備計画  
 (東京建築士会主催後援:東京都・台東区)  
 〈台東区長賞〉 (1986.5)

提案の主旨》浅草の七つの街路空間各々の歴史的固有性に配慮した沿道景観の修景計画案







◆ I-③第一回オホーツクまちなみ整備コンペティション／ 網走周辺地区まちなみ整備計画

(オホーツク委員会,網走市,網走市,オホーツクの21世紀を考える会主催,北海道開発局,北海道新聞社,朝日新聞北海道支社,毎日新聞北海道支社,NHK札幌支局,HBS他後援)

〈佳作一席〉 (1993.9)

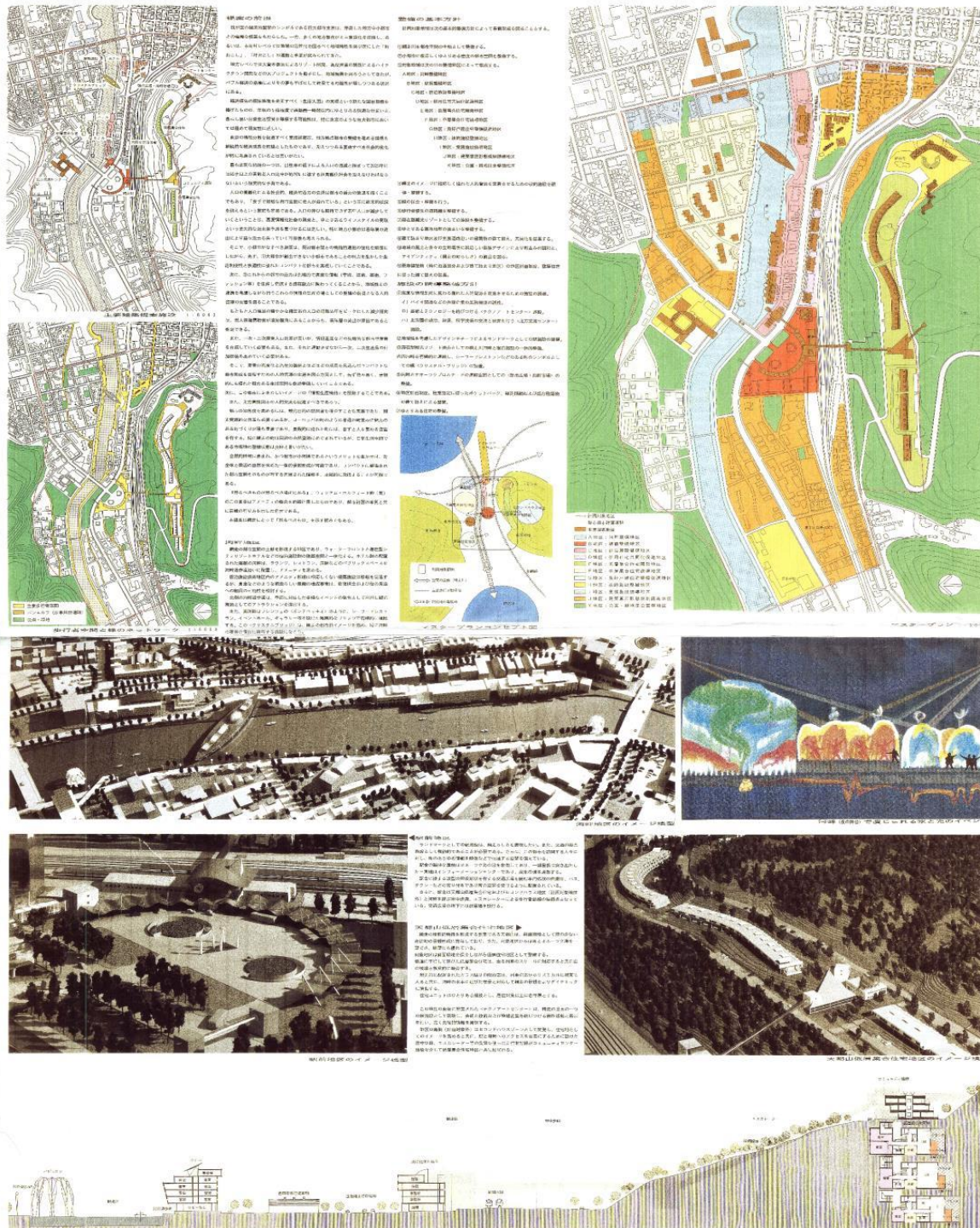
提案の主旨》

網走の街に必要なと思われる新な都市的施設を,既成市街地の中に適宜誘導立地するとともに,地区計画制度の運用などによるまちなみの整備を梃子にして,まちの活性化を図る。

その1. 計画対象地区全体模型写真



◆ I-④第一回オ  
ホーツクまちなみ整  
備コンペティション/  
網走周辺地区まちな  
み整備計画



その2. 提案内容の説明図





提案の主旨》  
つくばエクスプレス  
沿線の戸建住宅宅地  
開発地区を対象とし  
た、自然・すまい・コ  
ミュニティ空間の共生  
を意図した省エネを  
考慮した環境性型戸  
建住宅団地モデルの  
提案

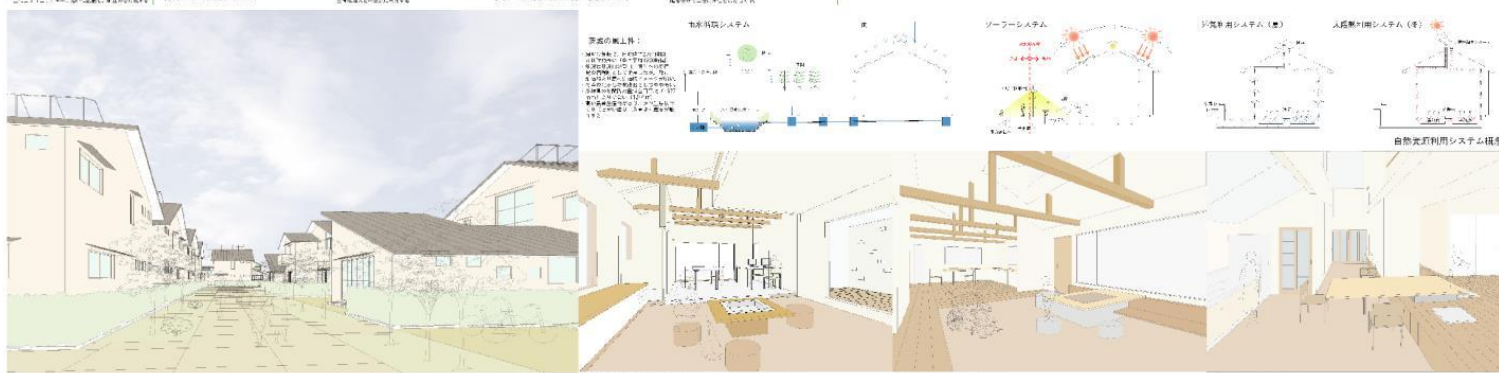
その1. 全体模型写真

- ◆ I -④ まちづくり月間実行委員会主催第21回すまい・まちづくり設計競技/首都圏  
郊外地域における、自然を活用した環境負荷の少ない住宅地の形成  
—LINKAGE 自然・住まい・コミュニティの連鎖系をつくる—  
(まちづくり実行委員会、(財)住宅生産振興財団主催,国土交通  
省,茨城県他後援)

〈(財)住宅生産振興公団会長賞〉 (2004.6)



# ◆ I-⑤ まちづくり月間実行委員会主催第21回すまい・まちづくり設計競技/首都圏郊外地域における,自然を活用した環境負荷の少ない住宅地の形成 —LINKAGE 自然・住まい・コミュニティの連鎖系をつくる—



その2. ライフスタイルに対応した五つの戸建住宅モデルプランの提案





# ◆ I -⑤ 第12回 2009年 まちの活性化・都市デザイン競技/地域資源を活かした活力ある街並み形成と居住環境の向上(栃木県宇都宮市「小幡・清住地区を対象として」)

一緑と歴史が共生するまち・緑のリンケージによるコミュニティの再生と活性化一(主催:まちづくり月間実行委員会 財)都市づくりパブリックデザインセンター 後援:国土交通省, 栃木県, 宇都宮市)

〈宇都宮市長特別賞〉 (2010.6)

## 緑と歴史が共生する街

### これからの街づくりの基本方針

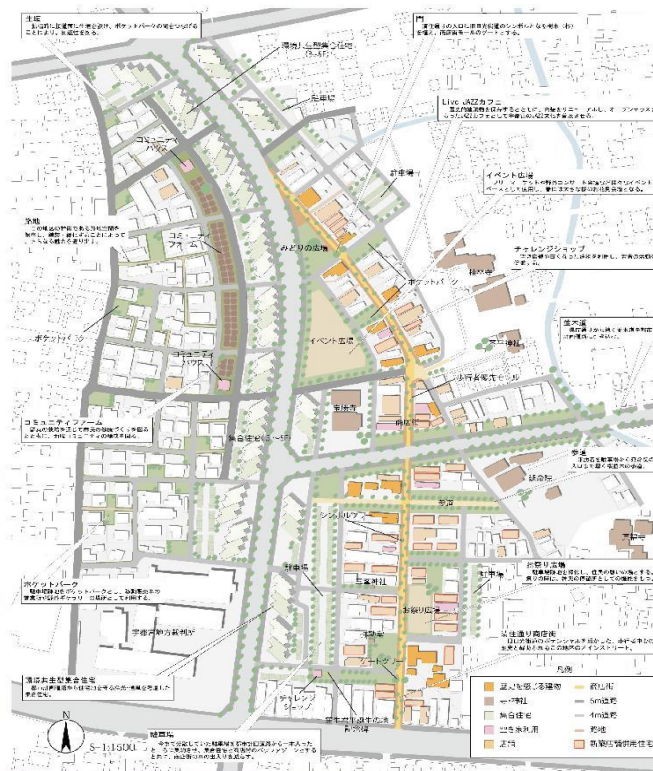
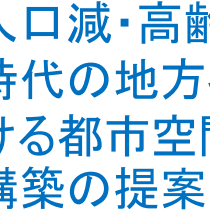
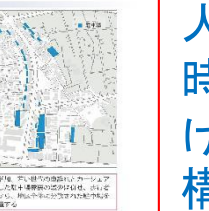
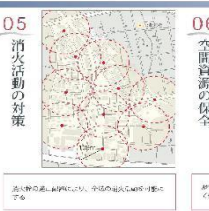
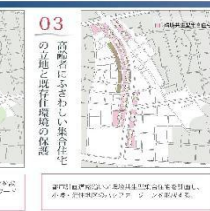
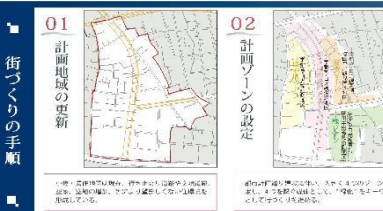
我が国は少子高齢社会を迎え、特に地方都市においては人口減少・高齢化に直面した街づくりが急務と求められている。また、居住者を増やすためには若い世代の定住を促す必要があり、そのためには「まちづくり」を通じて、まちの魅力を高める必要がある。一方都市再生に迫るための政策的基盤を構築していることから、圏域中心の都市再生は区域である。これからは地域の空間資源をどう活用・再生できるかが鍵となる。そのためにはまちづくりが重要である。本計画では、

『地域固有の空間資源を活用・再生をすることによる住んでみたくなるまち・訪れたいまち』

を基本方針として、都市計画道路の敷設及び空間整理を推進し、小幡・清住地区を保全・再生していく。

### 8つの指針

安心	交通	回遊	保全	共生	誘発	育成	研鑽
高齢者にやさしい住環境の形成	交通空間としての活用や、交通手段の多様化によるまちの活性化	回遊性のあるまちの形成	まちの歴史・文化・景観の保全	まちの歴史・文化・景観の保全	まちの歴史・文化・景観の保全	まちの歴史・文化・景観の保全	まちの歴史・文化・景観の保全



その1. まちづくりの構想と方針(都市計画道路の整備に伴う地区の再編)

提案の主旨》  
地域固有の空間資源の活用・再生による、人口減・高齢化進展時代の地方都市における都市空間像の再構築の提案



# ◆ I -⑥ 第12回 2009年 まちの活性化・都市デザイン競技/地域資源を活かした活力ある街並み形成と居住環境の向上(栃木県宇都宮市「小幡・清住地区を対象として」)

## — 緑と歴史が共生するまち・緑のリンケージによるコミュニティの再生と活性化 —

### 緑化を推進・保全する

**緑化の保全と育成による街路形成**

小幡・清住地区の住宅街は、戦前戦中の戸建住宅街の残存が少なく、戦後により建ちかえられた住宅が中心です。緑化の推進により、街路の形成と居住環境の向上を図ります。

**緑のネットワーク**

緑のネットワークを形成し、街路の形成と居住環境の向上を図ります。

### 歴史的建築物を再生利用する

**歴史的な建物の再生**

歴史的な建物を再生利用し、新しい用途に転用します。

**歴史的な建物の再生**

歴史的な建物を再生利用し、新しい用途に転用します。

### 旧日光街道の歴史を継承する

**小幡・清住地区の歴史**

旧日光街道の歴史を継承し、新しい街並み形成に活かします。

**歴史の継承**

歴史の継承を推進し、新しい街並み形成に活かします。

### コミュニティ意識を誘発する

**コミュニティ・ファームの活用**

コミュニティ・ファームを活用し、コミュニティ意識を誘発します。

**コミュニティ・ファームの活用**

コミュニティ・ファームを活用し、コミュニティ意識を誘発します。



### 旧日光街道の歴史を継承する

**歴史の継承**

歴史の継承を推進し、新しい街並み形成に活かします。

**歴史の継承**

歴史の継承を推進し、新しい街並み形成に活かします。

### 空家・空地を利用する

**空家・空地の活用**

空家・空地を活用し、新しい街並み形成に活かします。

**空家・空地の活用**

空家・空地を活用し、新しい街並み形成に活かします。

### 歴史資源と緑資源を共生させる

**歴史資源と緑資源の共生**

歴史資源と緑資源を共生させ、新しい街並み形成に活かします。

**歴史資源と緑資源の共生**

歴史資源と緑資源を共生させ、新しい街並み形成に活かします。

## その2. コミュニティの再生・活性化と持続性に資する空間資源の創出とコミュニティ活動の提案

## Ⅱ. その他のまちづくりアイデアコンペ応募作品

- Ⅱ-① 神田下町の街並み設計競技応募案（主催：千代田区、後援：建設省）（1986.1）
- Ⅱ-② 第3回2000年まちの活性化・都市デザイン設計競技応募案（主催：財）都市づくりパブリックデザインセンター、共催：足利市）（2000.3）
- Ⅱ-③ 第19回すまい・まちづくり設計競技応募案（主催：まちづくり月間実行委員会、（財）住宅生産振興財団、後援：国交省他、共催：草加市）（2002.6）
- Ⅱ-④ 大阪駅北地区国際コンセプトコンペ（主催：大阪駅北地区国際コンセプトコンペ事業委員会、後援：国交省他）（2003.1）
- Ⅱ-⑤ 日本橋まちづくりアイデアコンペ案（主催：日本橋 みちと景観を考える懇談会、後援：国土交通省）（2004.8）
- Ⅱ-⑥ 都市の発展と制御に関する設計競技（主催：日本建築学会）（2005.9）
- Ⅱ-⑦ 第9回2006年「まちの活性化・都市デザイン競技-播磨の中核都市にふさわしい魅力と活力交流都市の創出（姫路市）-」応募案（主催：財）都市づくりパブリックデザインセンター、後援：国交省 姫路市他）  
（2007.2）
- Ⅱ-⑧ 第11回 2008年「まちの活性化・都市デザイン競技-歴史的まちなみと居住環境の向上（彦根市）-」主催：財）都市づくりパブリックデザインセンター、後援：国交省 彦根市他）  
（2008.4）



•Ⅱ-① 神田下町の街並み設計競技応募案（主催：千代田区、後援：建設省）  
（1986.1）



提案の主旨》

住居の誘導  
を意図した  
千代田区の  
容積割増制  
度の運用に  
よる沿道建  
築物の提案。  
上階に設け  
た住居は隣  
接建築との  
居住者同士  
の行き来を  
たやすくす  
るためブ  
リッジを設



II-② 第3回2000年まちの活性化・都市  
デザイン設計競技応募案  
(主催：財)都市づくりパ  
ブリックデザインセンター、  
共催：足利市) (2000.3)



**提案の主旨》**

- ・街区ごとの広場を中心とした街区単位のとまりのある開発
- ・小都市のスケールにあった建築デザインの誘導(地区計画制度の運用)による街並みの形成



II-③ 第19回すまい・まちづくり設計競技応募案（主催：まちづくり月間実行委員会，（財）住宅生産振興財団，後援：国交省他，共催：草加市）  
（2002.6）



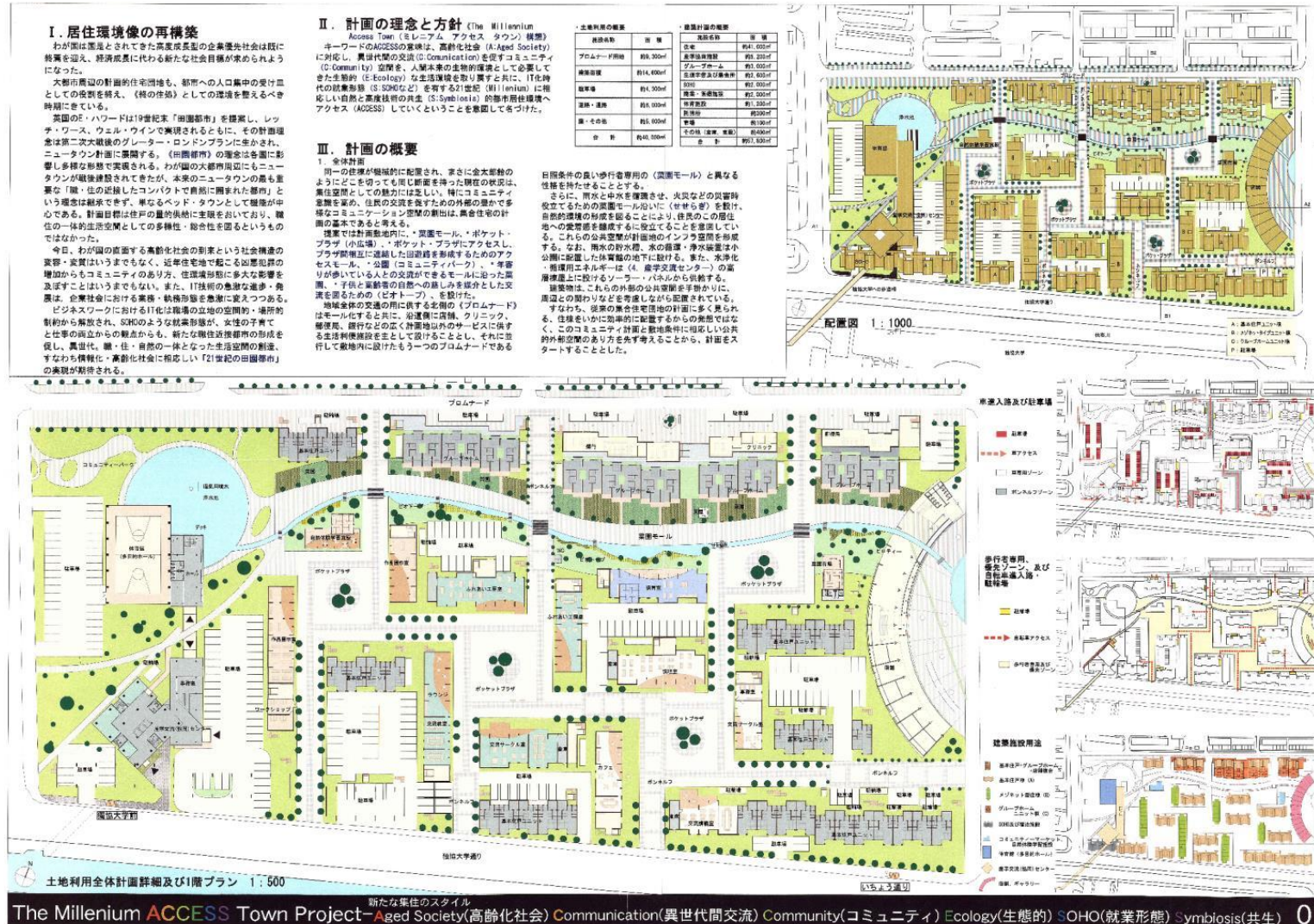
提案の主旨》  
計画地は草加松原団地の一部である。  
中心空間軸のモールに沿って、高齢者を対象としたグループホーム集合住宅を設け、モールを往来する人々とのコミュニケーションを誘発し、また、小広場など多様なコミュニケーションの場を適宜配置することにより、高齢者をはじめ住民相互の外部空間での交流を盛んにすることを意図している。

**住棟計画**  
基本的に3つの住戸ユニットを提案する。  
A. 基本住戸ユニット：  
居住者の特性から、従来の住戸規模にゆとりをもたせ、多様なかつ豊かな住み方が可能なユニットプランを計画した。  
B. メゾネットタイプ住戸ユニット：  
変化ある外部空間を創造することも重要し、またイタリヤの街のようにポケットプラザ（小広場）を住棟に取り囲むために、自然採光条件から南北軸の配置に拘束し、かつ若い世代のすまい方のニーズにも対応したメゾネットタイプ・ユニットを提案する。  
C. グループホーム  
高齢化社会の高齢者性態に対応するために、グループホームを設けた。高齢者のいる3世代家族は、Aタイプとの併用により、グループホームに住む家族との共生ができる。  
3. 共用施設  
北側モール沿い、ポケットプラザレベルなど住棟の1階部分に店舗をはじめ生活利便施設、クリニック、保育園など適宜設け生活の利便性を確保する。また、西側の公園には、多目的利用のできる屋内体育館を設ける。  
4. 産学協同およびSOHO用施設  
隣接する大学と地域社会との相互協力関係は、産学協同研究、社会人大学・大学院、学生のボランティア活動による地域社会への貢献などが考えられる。外園からの長期滞在研究者用に住棟の一部を宿泊施設として利用することも考慮する。  
車でのアクセスもし易い（独逸大学通り）に面し、





## II-③ 第19回すまい・まちづくり設計競技応募案（主催：まちづくり月間実行委員会，（財）住宅生産振興財団，後援：国交省他，共催：草加市） （2002.6）

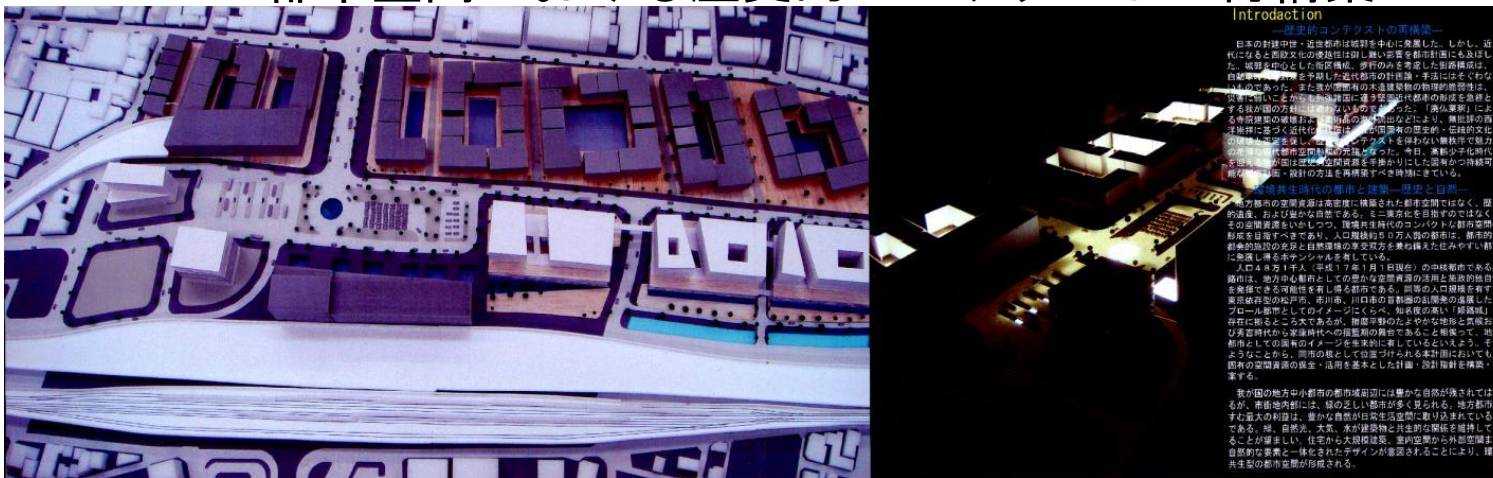


その2. 全体計画図



# II-⑦ 第9回2006年「まちの活性化・都市デザイン競技-播磨の中核都市にふさわしい魅力と活力交流都市の創出(姫路市)-」応募案(主催:財)都市づくりパブリックデザインセンター, 後援:国交省 姫路市他)(2007.2)

## -都市空間における歴史的コンテクストの再構築-



### Problem

- 歴史的ストックが乏しい。
- スクラップ・アンド・ビルド型から既存再生型へ
- 人口高齢化社会における地方都市
- 経済停滞と生活文化の創出
- 歴史的ストックの保存・再生

どこを切っても同じの都市史論的・地方精神の空間構造から、各々の異なる味が出る味わいを持つよう、一体的に繋がる花見団子型に転換していく必要がある。

さらに既存の駅前地下商店街は地上レベルとの関係が全くなく、その敷地の豊かな太陽光と温暖な気候条件を全く利用できていない。人工照明に頼ることである駅前地下街となっている。地上レベルと地下レベルを一体的ランドスケープと捉えデザインする。

### 日本の城郭、西洋の広場

世界文化遺産姫路城  
姫路市のシンボルでありかつ開港のランドマークである。築城された17世紀、城郭が周囲に八年をかけて築造されたものが残る。

日本には古来の歴史があり、特に近代の都市空間の歴史が少ない原因のひとつとして我が国の都市空間にストックとして存在してこなかった広場の欠如がある。

ポロゾン・コア時代の  
中核広場 (age=1990)  
ルネッサンス期  
近代都市の発展の一環として創設された。

### Proposal

#### 計画地区の施設配置計画の方針

- 駅前地区の施設配置は低層部分と中高層部分に明確に分層する。
- 地階および低層部分は「キャッスルタウンモール」の水平的空間構成によって構成する。
- モール空間を軸として、地階既存施設を含め商業施設層は多様な商業施設、および飲食・福祉サービス、健康サービス、行政サービス、プラザ、商業施設、文化施設、などがコアとして入居する。
- 中高層部分は大ホール・シネコン (Aブロック)、商業施設、ホテル (Bブロック)、集合住宅 (Dブロック) が入居。
- Aブロック、Bブロック、Cブロック各々の中高層部分の隙間に採光・通風のため開けられた換気空間は、総路地の天守閣の中心と軸を軸心として進行することにより、項目を段階的に自然に誘導し、かつ景観を向上させることを意図する。
- また、新幹線からの乗客の乗降も建物による壁を作るのではなく、隙間を設けることにより、同様に総路地に沿っての景観を誘導させることを意図する。
- 建築物の裏には総路地 (大天井: 建築31.5m+石造14.8m=46.3m) を確保する。
- 本駅前地区に隣接する駅前 (Dブロック) は、バスターミナル事務所・観光案内所・立体駐車場 (自走式) および上層階にビジネスホテルを配置する。
- 駅前商業ビル (キャッスル) は東側コアゾーンの北側前面面にそるえて立地させる。
- 高層上層階は、後述部分は店舗を立地し、内層は駐車場とする。

### LANDSCAPE

- コアゾーンの地上階および低層部分および中高層部分上層階は緑化する。
- 総路地の空を計画地区内に取り込む
- 駅前広場 (エントランスゾーン) は緑地によりコアゾーンの連続を確保する。また、中心のポロゾンの円形車道は自然光を取り入れ、地階と地上階が自然に繋がる空間となる。
- 自然はライトアップをする。さらに、噴水は地上と地上とのつながりを促進的に繋ぎ合わせるメディアとなる。
- 都市の要素を媒介して地下階と地上の空間と連続的につなげる。さらに、商店街の中心と駅前地区の軸上に配置することにより、総路地との視覚的つながりが強調される。
- 駅前地区の緑地を軸として、駅前地区の緑地と駅前地区の連続的な一体感をもちます。

### Master Plan

#### 総路地との意識的・視覚的関係を誘導させる

自然に総路地に沿って進む商業を誘導させるため、景観の方向を誘導する。特に知名度の高い「総路地」の、歴史的景観を都市全体に波及させてイメージさせる事が可能になる。

現在上層階と空の層が感じることのない歴史的建築物として存在する「総路地」であるが、本案、地下取として「総路地」を中心に築いた都市であるが、従来の「総路地」の天守閣を中心とした中心と軸を軸心として進行することにより、項目を段階的に自然に誘導し、かつ景観を向上させることを意図する。

### 姫路城を中心とした駅前地区の都市空間構成

新都市のコアとして中心駅は、その歴史のシンボル・チーフを象徴する物となるべきでない。また、新幹線のスピードと鉄道技術の美観性、および駅構内の歴史を踏襲し、デザインが求められる。現在の多くの駅構内は歴史的な要素を失ってしまっている。本案では駅構内に歴史を感じさせるべく、歴史的な要素を踏襲し、デザインが求められる。また、駅ビル及び駅前地区の歴史・文化を伝えることにより、駅ビル及び駅前地区を中心とした高層ビル群に占められる事により、全面的に統一された駅前地区が形成されつつある。駅前地区の緑地を軸として、駅前地区の緑地と駅前地区の連続的な一体感をもちます。

種別	種別	種別	種別	種別	種別
1750	1800	1850	1900	1950	2000
1750	1800	1850	1900	1950	2000
1750	1800	1850	1900	1950	2000
1750	1800	1850	1900	1950	2000
1750	1800	1850	1900	1950	2000
1750	1800	1850	1900	1950	2000

駅ビル  
キャッスル  
バスターミナル  
Aブロック  
Bブロック  
Cブロック  
Dブロック

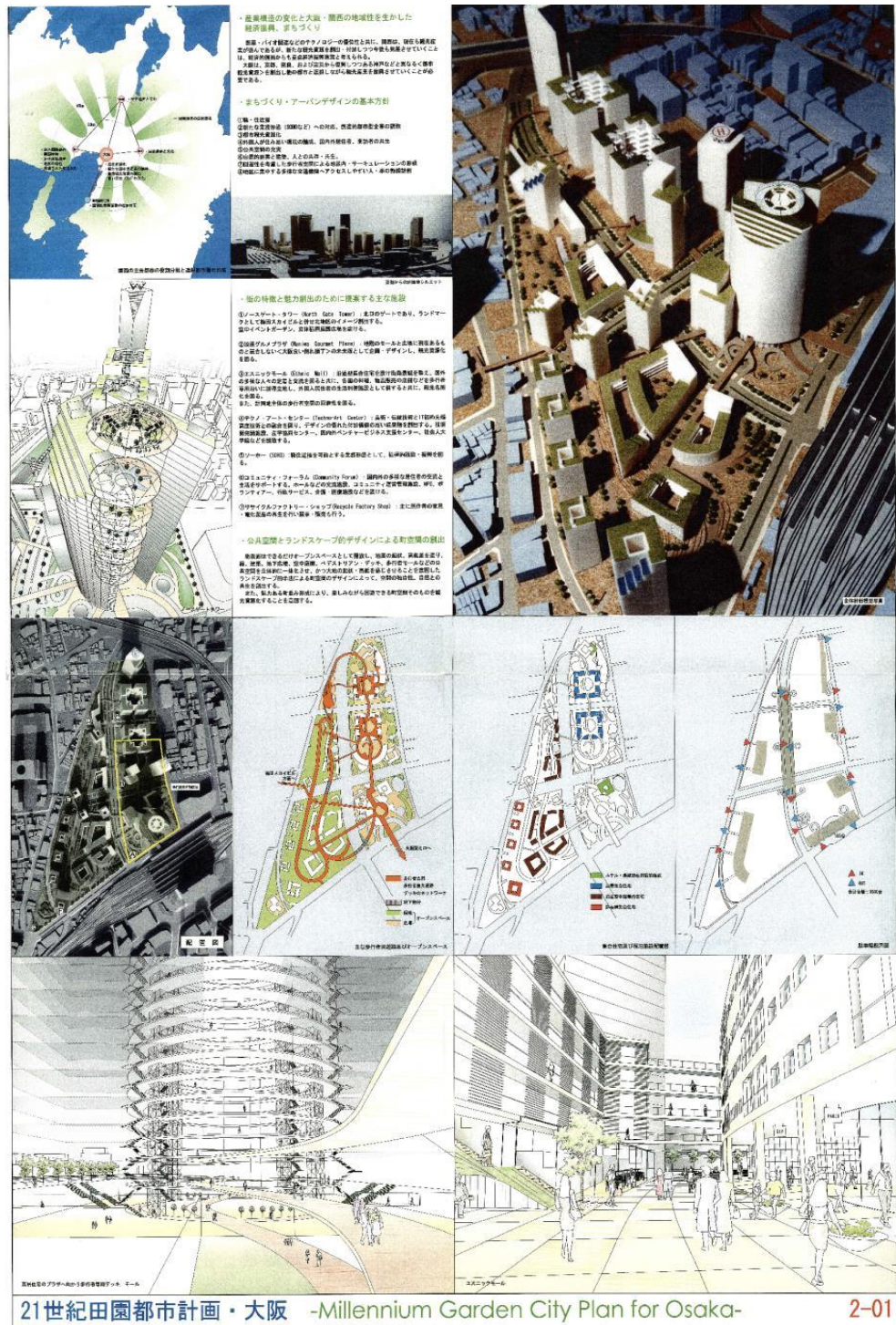
山手線  
新幹線

在来線  
新幹線

Master Plan 1/2000

提案の主旨》  
姫路市のシンボル、かつ、ランドマークである姫路城（世界遺産登録）を都市景観形成の梃子として活用する。新幹線から建物間の隙間を通し姫路城のビスタを確保できるよう建築物の形態・規制する。また街区単位の開発を誘導し、各街区の中心には広場（プラザ）を設けるように誘導する。





Ⅱ-④ 大阪駅北地区国際コンセプトコンペ（主催：大阪駅北地区国際コンセプトコンペ事業委員会，後援：国交省他）（2003.1）

- 提案の主旨》**
- ・ 緑の積極的導入による環境共型中心市街地空間の創出
  - ・ 屋上庭園など立体的な緑の導入
  - ・ 国際化に対応した外国人対象の住空間街区の形成
  - ・ ペDESTリアン空間のネットワークによる地区の骨格の形成 他

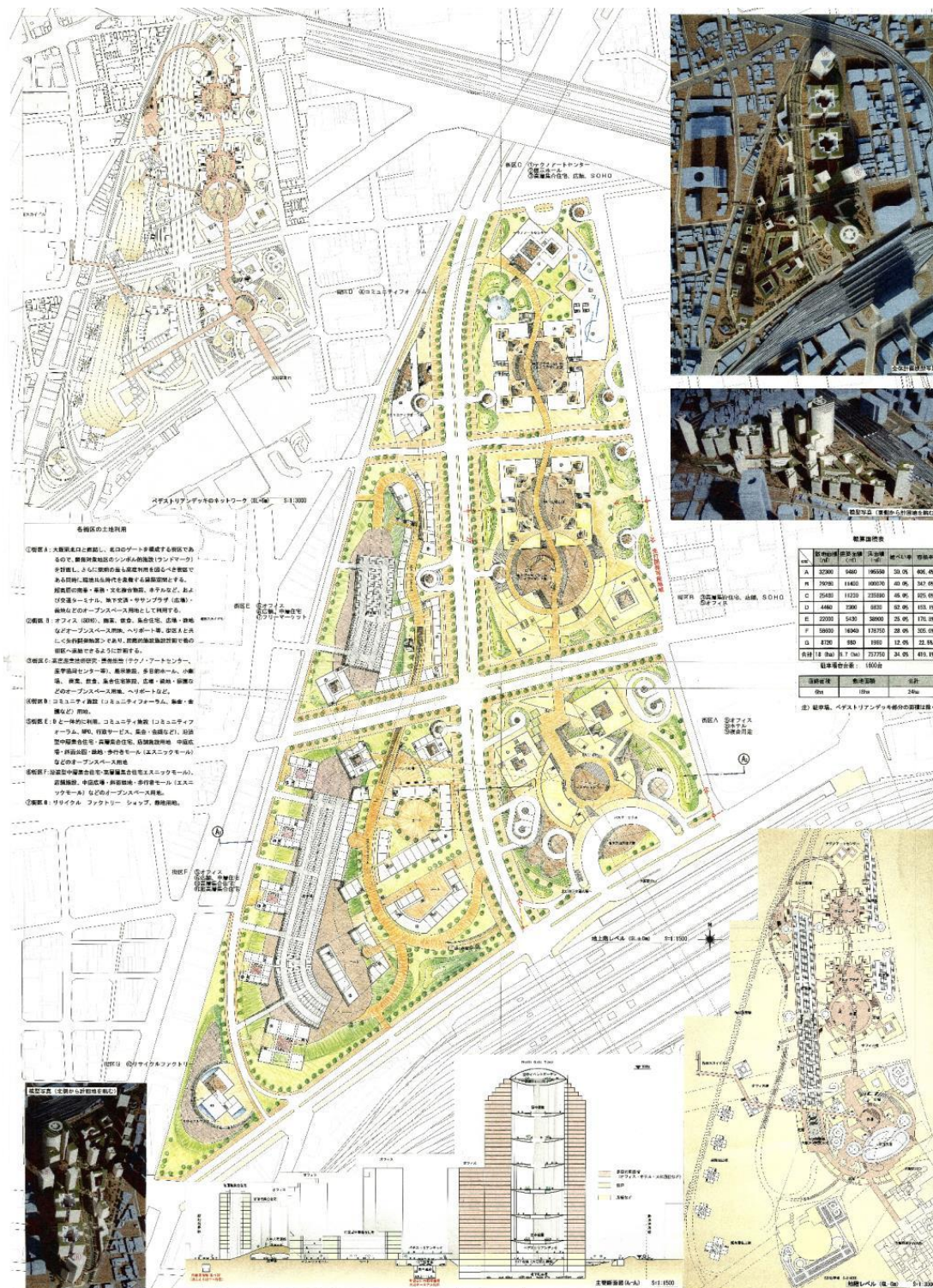
その1. 計画概要説明図



Ⅱ-④ 大阪駅北地区国際コンセプトコンペ  
 (主催：大阪駅北地区国際コンセプトコンペ事業委員会，後援：国  
 交省他) (2003. 1)

提案の主旨

- ・ 緑の積極的な導入による自然と有機的に連鎖する建築デザイン
- ・ 立体的なペDESTリアンネットワークの構成
- ・ 超高層階へと立体的に配置された緑空間  
他



その2. 地上階ほかプラン



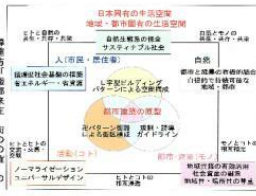




「都市建築の発展と制御」に関する設計競技 緑地や公共空間を創出する都市建築の原型

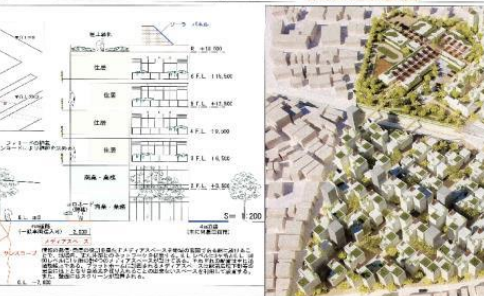
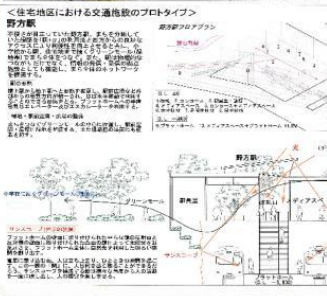
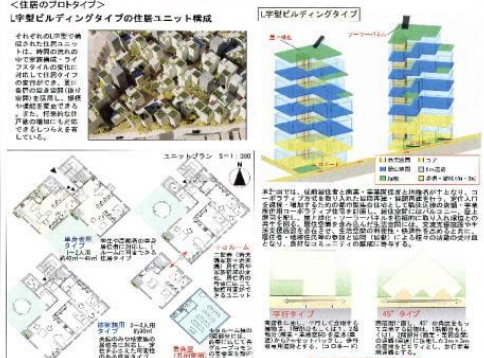
共に生きる・活きる暮らしの原型を創る ～中野区・野方地区～

我が国の都市は、経済発展の土地需要、土地利用における多様な価値を必要とする都市空間の発展と、近代化・都市化の過程で、日本固有の歴史と文化を継承する都市空間の発展と、環境・社会・経済の発展とが同時に進んできた。このように発展してきた都市空間は、緑地・公共空間の確保や防災・防犯の確保、社会福祉の充実など、人々の暮らしを支えるための都市空間を創出してきた。特に、公共空間の創出は市民の都市空間を共有しているという意識を育み、緑地や公共空間の創出を通じて、都市の暮らしを支える生活環境を構築することと共に、後継世代に社会環境を継承する役割を担ってきた。近年では、都市空間の発展と、環境・社会・経済の発展とが同時に進んでいく都市空間を創出する都市建築を、都市の発展がもたらす公共空間を創出し、増進していく建築と都市の発展とを同時に進んでいく都市空間を創出する都市建築として、都市の暮らしを支える生活環境を構築することと共に、後継世代に社会環境を継承する役割を担ってきた。近年では、都市空間の発展と、環境・社会・経済の発展とが同時に進んでいく都市空間を創出する都市建築を、都市の発展がもたらす公共空間を創出し、増進していく建築と都市の発展とを同時に進んでいく都市空間を創出する都市建築として、都市の暮らしを支える生活環境を構築することと共に、後継世代に社会環境を継承する役割を担ってきた。



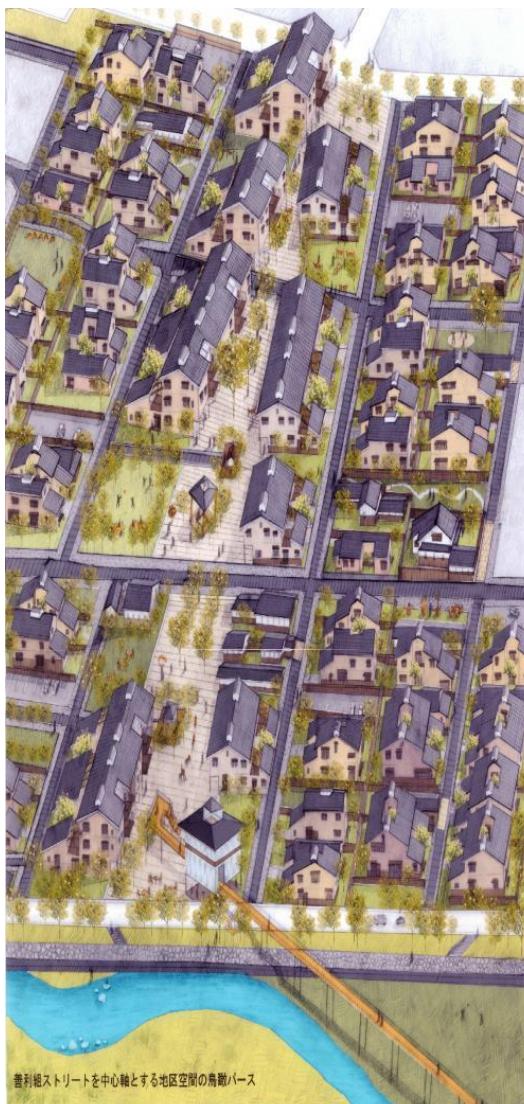
# Ⅱ-⑥ 都市の発展と制御に関する設計競技 (主催: 日本建築学会) (2005.9)

「都市建築の発展と制御」に関する設計競技 緑地や公共空間を創出する都市建築の原型  
 (学会会場における展示作品に選出)



**提案の主旨》**  
 中野区野方密集戸建住宅地区を計画対象地区に選択。  
 環境共生型狭小宅地開発をテーマに、各住戸敷地内に終日日影が出ないように住戸を南北軸に対し45度に配置するルールによる、地表面での日照環境の向上に伴う狭小敷地内の植栽空間の確保、および地区内に適宜小広場を分散配置し、緑空間および近隣住民の交流の場として利用することを意図した。





共同・協賛建築によるモジュールタイプ



モジュール



共同・協賛建築によるモジュールプラン 1:300



共同（集合住宅）建築によるモジュールプラン 1:300



共同・協賛建築による街並み形成



歴史的建造物の保全環境とした街並み形成



第11回 2008年 まちの活性化・都市デザイン競技

歴史的建造物と共同・協賛建築による建築との関係

共同・協賛建築により形成された街並みの断面構成



歴史・緑・アートが共生するまち 02

## Ⅱ-⑧ 第11回 2008年「まちの活性化・都市デザイン競技-歴史的まちなみと居住環境の向上(彦根市)-」

### 提案の主旨》

彦根城を中心とした街並み景観形成を図る。歴史的イメージを継承するために建築デザインのコントロールをする。

また、歴史的建築物の維持・保全とともに街中の回遊性を図るためにモールなどを整備し観光都市としての空間資源を保全・形成する。

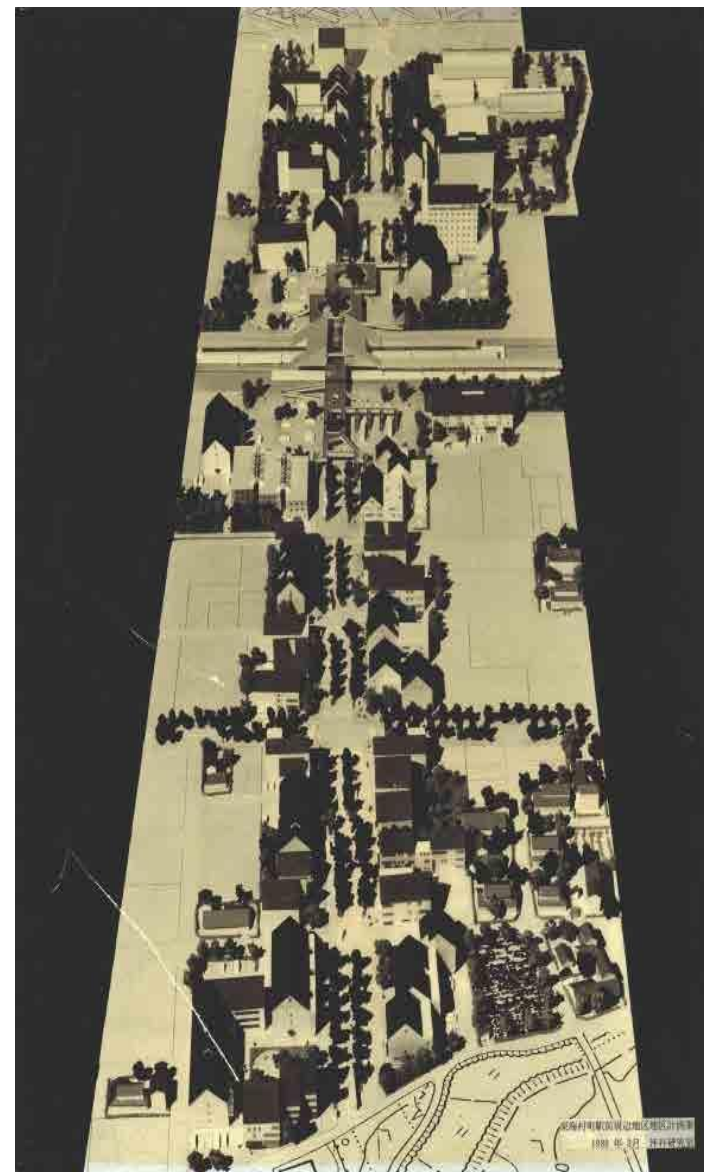


### Ⅲ. 自治体まちづくり関係計画案策定

- ①小田原市都市景観基本計画(1989.3)
- ②小田原城周辺地区景観形成モデル地区計画(1988.10)
- ③東海村街づくり駅周辺地区計画案(1988.3)
- ④静岡市麻機遊水地等整備基本構想(1990.11)
- ⑤所沢市住宅マスタープラン(1997.11)
- ⑥岩槻市住宅マスタープラン (1997.9) 他

### Ⅳ. 自治体関連プロポーザルコンペ等参加案

- ①千葉県習志野市実籾県営住宅団地建て替え計画案(千葉県へ提案)(1987.3)
- ②海上町コミュニティプラザ計画案(海上町へ提案)(1998.3)
- ③小見川用地アイデア募集公開コンペ(主催:小見川用地アイデア募集委員会)(2005.10)



③東海村街づくり駅周辺地区計画案(1988)  
-地区計画制度の運用による街並み景観形成モデル提示案-  
(於:東海村町駅周辺地区計画策定委員会)



②海上町コミュニティプラザ計画案-パーマカルチャータウン UNAKAMI-(海上町へ提案)(1998.3)



# V. 住宅作品 ー設計主旨：地域の風土・歴史のコンテクストを考慮したすまいのデザインー



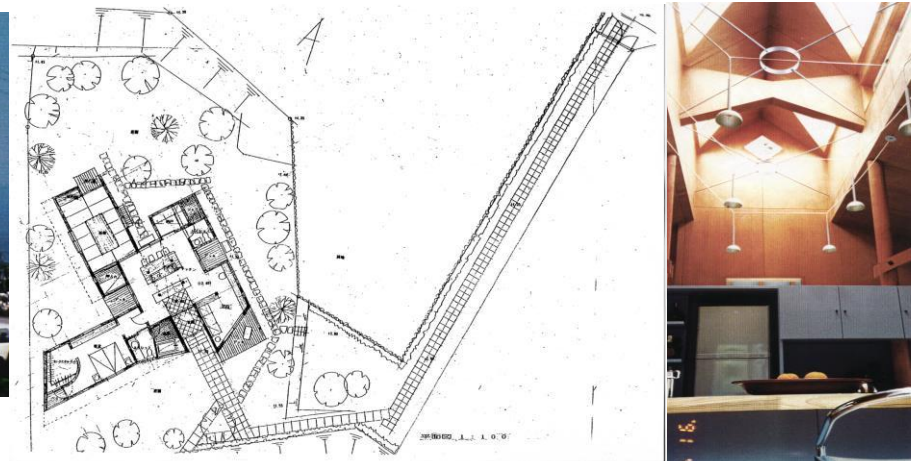
①「横浜の家(建築文化掲載)」(1983.2)



③「草津の家(住宅建築掲載)」(1991.1)



②「指宿N邸」(1989.7)





## VI. 法人，企業関係プロジェクト・企画・実施設計

- ・N大学1号館B棟基本設計・実施設計(案)  
(1976.12～1977.11)
- ・野辺地港海岸環境整備計画-野辺地海浜公園基本構想-(1998.3)
- ・函南スプリングス研修・リゾートコンプレックス計画企画設計案(1983.11)
- ・NB大学(九州)ニューキャンパス計画案(1999.9)
- ・(株)Y植木会社建て替え計画案  
(2013. 5)

他

